

更に徹底した合理化・労力強化  
安全性無視の

# 「63.3ダイヤ」を許すな！



87.12.30  
No2730

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（二二）七二〇七

## 反合。運転保安の斗い入

さらに徹底的な合理化・労働強化

十二月二日、東日本及び貨物会社当局は、「六三・三ダイヤ改」について組合側に提案をおこなってきた。

当局は、「六三・三ダイヤ改」において、東日本で千葉管内五千キロ、貨物が関東支社管内二千キロの列車設定キロ増を計画しているが、重大な問題は、これだけの大幅な業務増を、徹底的な合理化、労働強化、安全性無視によって、現行要員以下でおこなわせようとしていることである。分割・民営下攻撃の過程で要員が半減され、それに加えて差別・選別・パージを基本とした労務政策があいまって、現在でも「二十年前に戻った」と言われるような劣悪な労働条件がわれわれの上にかかっている。また、そのことによって運転保安が重大な危機にひんしている。「六三・三」はこれに更に拍車をかけようとしているのである。

内容的には、①木原線の廃止に伴う大幅な要員削減 ②乗務員関係では、予備要員・ホーム要員・臨要員の見直し、乗務行路の見直し、仕業の充実化・スピードアップなど、今以上の徹底した労働強化・労働密度のアップ ③検修関係では、新

たな検修作業の抜本的な見直し（貨物）をはじめ、機動班・仕業検査の見直し、誘導業務との兼掌化等による大幅な要員削減が画策されている。

標準数なる考え方の導入を許すな

さらに重大な問題は、この「六三・三」の要員査定にあたって、当局側が、今までの「定数」「所要数」という考え方を変更して、「標準数」なる考え方をもちこんできたことである。各箇所別の要員はあくまでも目安であり、それ以下に割りこんでも、祝日の買い上げ等で対処できるというのである。「標準数」とは「要員需給状況把握等のための管理手法としての数値」でしかないというのである。つまり、それぞれの業務の所要など、当局の腹づもりで、どうにでもできるといえるのだ。「六三・三ダイヤ改」によって、強制出向攻撃をはじめとした強権的な労務支配の攻撃がエスカレートしていくことは明らかである。

「六三・三ダイヤ改」合理化阻止に向けて、反合・運転保安闘争の再確立の闘いを軸に全力で決起していかねばならない。

### 「63・3ダイヤ」改概要（運転関係）

箇所	関係職	「63.3」標準数	「61.11」定数	記事
習志野電車区	車両	88	93	・機動班の見直し ・仕業検査班の見直し
幕張電車区	動乗	37	38	・技術担当要員の見直し
	車両	161	171	・機動班の見直し ・ATC班の見直し ・仕業検査班の見直し ・誘導担当要員の見直し
同木更津支区	車両	15	23	・木原線廃止 ・仕業検査班の見直し
津田沼運転区（本区）	動乗	89	94	・その他予備要員の見直し ・ホーム予備要員の見直し
千葉運転区	動乗	167	162	・タイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・その他予備要員の見直し ・ホーム予備要員の見直し
	助役	7	6	・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し
銚子運転区	動乗	87	74	
勝浦運転区	動乗	62	76	・木原線廃止 ・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・臨要員の見直し
	車両	3	6	
館山運転区	動乗	65	63	・ダイヤ改正に伴う列車増発 および乗務行路の見直し ・臨要員の見直し

※貨物は、要員関係については、まだ提案されていない。

### 列車キロ現改比較 ○東日本（千葉運行部関係）

「61.11」ダイヤ改	「63.3」ダイヤ改	増	減
68,501.7キロ	73,674.8キロ	5,173.1キロ増	

### ○貨物（関東支社関係）

「61.11」ダイヤ改	「63.3」ダイヤ改	増	減
58,241.1キロ	60,250.4キロ	2,008.3キロ増	